



総研大ニューズレター

第51号 2012.8 発行

●目次

- 【今月のトピックス】 「高エネルギー加速器科学研究科 第4回オープンキャンパス
・大学院説明会 開催 高エネルギー加速器科学研究科」
「研究者入門2012 - 研究者コミュニティへの招待」開催 学融合推進センター」
「第5回中高生のための科学セミナー「宇宙の中の地球」開催 総務課」
「総研大事務系職員大O B会 開催 総務課」

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定	
8月20日～9月13日	天文科学専攻サマースチューデントプログラム (夏の体験研究)
8月21日	JSPS サマープログラム報告会
8月21日	核融合科学専攻 博士論文公开发表会
8月27日・28日	国際日本研究専攻 学位申請論文公开发表会
8月27日～31日	核融合科学専攻 夏の体験入学
10月14日	地域文化化学専攻・比較文化化学専攻 オープンキャンパス

【今月のトピックス】

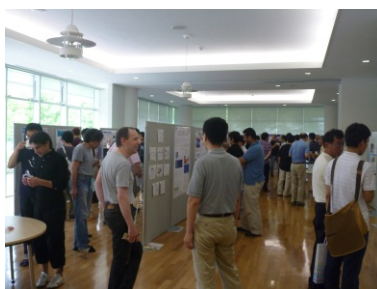
● 高エネルギー加速器科学研究科 第4回オープンキャンパス・大学院説明会を開催

高エネルギー加速器科学研究科では、7月5日(木)にKEKにて、オープンキャンパス・大学院説明会第4回(つくば)を開催しました。梅雨の季節ではありますが、当日は天候にも恵まれて雨が降ることも無く、全国の大学などから次世代の研究者を目指す13名が参加しました。

午前中は研究科紹介の後、加速器科学専攻、物質構造科学専攻、素粒子原子核専攻から各2名の講師による各専攻の案内・研究内容等についての説明があり、関連資料(募集要項を含む)の配布を行いました。

午後からは、各専攻・各研究グループが計28ブースに分かれてのポスターによる研究紹介が行われ、担当教員及び総研大在学生により詳細な研究内容の紹介があり、参加者は各ブースにおいて熱心に説明に聞き入っていました。また、素粒子原子核専攻理論部門による相談窓口が設けられ、担当教員と参加者とがより身近な距離で積極的な質疑応答が交わされていました。

なお、研究科長からお茶・お菓子などの提供があり、緊張続きの参加者も一時リラックスした場面も見受けられました。

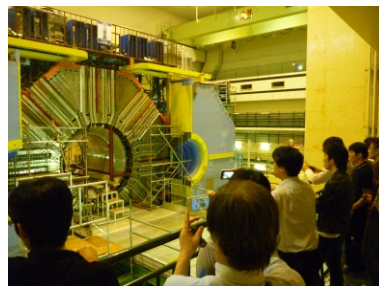


その後、KEKの施設見学が行われ、参加者は先輩研究者が実際に日々携わっているKEKB、Bファクトリー実験施設、放射光実験施設、先端加速器試験施設など、KEKにしか存在しない各実験施設のすばらしさを実感していました。

また、施設見学の後、希望者には入試や研究環境、生活面での個別相談会を行いました。

オープンキャンパス・大学院説明会の全日程が終了すると、参加者の充実感に満ちた表情が会場に広がりました。参加者同士、連絡先を交換したり、感想など語り合う様子もありました。

今回の参加者の中から、一人でも多くの方が、次のKEK及び総研大を支えてくれることを願っています。



【文責 高エネルギー加速器科学研究科 副研究科長 齊藤芳男】

● 「研究者入門 2012 - 研究者コミュニティへの招待」を開催

日時：7月14日（土）～16日（月）

場所：総合研究大学院大学葉山キャンパス

今年のテーマは「とびだす力、はみだす力」。「研究者としてのキャリアをつないでいくためには、なぜ今までと異なる発想をしなければならないのか」研究者を目指す学内外の大学院生（学内8名、学外5名）が集って先輩や教員と一緒に考える2泊3日の短期集中型の授業「研究者入門」が開催されました。

最初に、「社会の役に立ちたい」「夢を実現したい」「自分にしかできない仕事」チームに分かれて議論を行い、参加者は自分自身の研究目的を改めて考える時間を持ちました。

次に、「研究者のキャリアを振り返って」として、研究者の大先輩である情報・システム研究機構長北川源四郎先生からフィッシャー先生や赤池先生との出会いのエピソードや北川先生が「数学から統計数理への転換」した時の貴重なお話を聞きました。

翌日の「つかもうぜ！自分の仕事！キャリアに関するQ&A」とした若手4名の講師（総研大修士課程生）からのお話は、いずれもユニークなものでした。垣内拓大先生（愛媛大学大学院理工学研究



科環境機能科学専攻助教)はポストをつかむために2年で学位(博士)を取得したとのこと。物腰は柔らかいけれども、自分が決めた目標はやり遂げるという強い意志の持ち主でもありました。土屋隼人先生(核融合研究所助教)は高校2年で目標を決め、それに向かって突き進んでいるとのことですが、挫折を乗り越えてきたエピソードも教えていただきました。八巻恵子先生(東京国際大学国際関係学部客員講師)は、キャビンアテンダントを経て研究者になった方です。そのこともあり、既存の研

究分野ではなく、経験を活かした新しい分野を創っていくことが求められていることを痛感する日々とのことでした。倉田 智子先生(基礎生物学研究所助教)は科学広報という仕事でその才能を発揮しています。現在のポストは、必要性を自身でアピールし、創り出したものとのこと。またそのパワフルな活動にも感心させられました。

この日の午後は橋本省二(素粒子原子核専攻)先生に「自分の強みをどう活かしてきたか、ユニークネスが導くキャリア」というタイトルで計算機室でのお仕事やプロジェクトについてお話いただきました。まとめのスライドでは、「まとめている場合じゃない、5年ごとに新機軸」としてこれからの目標について語り、研究への熱い思いが伝わってくる講義でもありました。



シニア、中堅、若手の研究者方々のお話を通して、それぞれの先生方が研究者に大事だと考えている点やキャリアの中で感じてきたことが少しずつ違うのだと気付かされました。

自分自身がどのような研究者になりたいのか、そしてそのためにどのようにキャリアを積み重ねていけばよいのか具体的に考えることは結構難しいものです。そこで、ワークショップの形で、気づきの場が組み込まれていました。

研究ゲーム「トビダス効果、ハミダス効果」はアナロジーを使って、自分がどのタイプの研究者かを気づかせようというもの。参加者は「刑事」や「プロファイラー」や「鑑識」や「監察医」になって推理に取り組みました。このワークショップでは視点を変える大切さも知ることができました。

吉澤 剛先生(大阪大学)と田原 敬一郎先生(未来工学研究所)が考案した「科学技術政策ワークショップ: ONLY ONEになる技術」は科学や政策そして自分がやるべきことをどのように捉えているかが浮き彫りにされ、あらたな自分を発見する機会になりました。



七田 麻美子先生(青山学院大学)と奥本 素子先生(学融合推進センター)の見事な掛け合いで行われた「研究者のワークライフバランスを考える」では、研究者の陥りがちな行動パターンや女性や男性の考え方の違いなど、調査や文献から具体的な説明がありました。その話からいろいろな方向へ話が発展し、エンドレスのフリーディスカッションになってしまいました。

そして最後に「10年後の自分から今の自分へのアドバイス」を各自考え、発表しました。かなり具体的に10年後の自分を想像すること、つまりやりたいことを話すことができたように思います。また、自分が心がけるべきことや自分にまだ足りていないものを知る機会にもなりました。

今回のプログラムを通じてキャリアパスの多様性を理解し、自分のやりたいことに気づき、自分のキャリアの方向性を描けるようになるという目標はほぼ達成されたとの感想を参加者からもらいました。特に総研大以外の大学院生が多く参加した今回は、講師からだけでなく、参加者同士の交流も大きな刺激になったようです。今後は、さらに多くの学生に、このプログラムに参加してもらえよう努めたいと思っています。

【文責 学融合推進センター 講師 岩瀬峰代】

● 第5回中高生のための科学セミナー「宇宙の中の地球」を開催

7月25日（水）、横須賀市自然・人文博物館にて、中高生のための科学セミナーを開催しました。このセミナーは総研大の地域社会交流プログラムの一環として毎年この時期に開催しており、今回は中高生の他、保護者も含めて計42名の参加がありました。

今回は講師として天文科学専攻の小久保英一郎教授を迎え、「宇宙の中の地球」と題して2時間の講義を行いました。

話は「地球のあるところ」から始まり、太陽系の他の惑星について、太陽系はどのようにして生まれたかなど、イメージ画像や映像、CGを用いながら、大変興味深い説明がなされました。

アンケートの感想では、「地球は宇宙空間のどこに存在するのか、太陽系や地球はどのように生まれたのか分かりやすく説明されてよかった」、「宇宙の大きさは光でわかる、など今まで知らなかったことがわかった」、「コンピュータで作った映像が本当に宇宙を旅しているように思え、迫力があった」、「今回のセミナーを聞いて、天文学にすごく興味がわき、詳しく勉強したいと思う」など、参加した生徒たちは宇宙の研究の楽しさを感じ取ったようです。また、「面白かった」という感想が多く、普段の授業ではなかなか聞くことのできない、科学の面白さを知ってもらえたようでした。



【文責 総務課】

● 総研大事務系職員大OB会を開催

平成24年7月21日（土）総研大創設当時から現在に至るまでの事務系職員62名による大OB会が葉山キャンパスにおいて開催されました。及川附属図書館長の進行で赤塚事務局長の挨拶に始まり、生ビールや東銀座のフレンチレストラン元オーナーシェフの料理を楽しみながら、午後の一ときを共有することができました。

古い仲間では、牧山助友・日本芸術文化振興会総務企画部長（2代目総務課長）、田邊耕次・東工大グリーンセンサ支援ユニットリーダー（2代目総務課課長補佐）、小山浩幸・国文研財務課長（2代目教務係長）、鎌塚聡・高等教育局国立大学法人支援課課長補佐（3代目教務係長）らに参加していただくことができました。

葉山からは、高畑学長、及川附属図書館長、湯川学長補佐、赤塚事務局長、中島総務課長、高橋学務課長、柳生調査・監査主幹ら25名の参加があり、東工大から10名、横浜国大から7名の他、弘前大学、東京大学、東京外大、東京芸大、静岡大学、名古屋大学、放送大学、国文研、岡崎統合事務センター、核融研、茨城高専からの参加がありました。残念ながら長岡技大と高エネ研のOBは参加できませんでしたが、お酒やスイカの差し入れがありました。



【文責 総務課】

【各種募集】現在公募中の情報

事 項	応募期間	提 出 先
国立天文台滞在型研究員	随時 (滞在希望初日の前月1日まで)	国立天文台研究支援係
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 学融合推進センター事務係
http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/kouryuu/koubo/h24taizai.html		
http://cpis.soken.ac.jp/htdocs/?page_id=68		

【イベント情報】

● 総研大の行事

8月

日程	時間	行事名	場所
2日(木)	14:00-16:00	地域文化学専攻 学位論文公開発表会	国立民族学博物館 2階第7セミナー室
8月20日(月) -9月13日(木)		天文科学専攻サマースチューデントプログラム (夏の体験研究)	三鷹・野辺山・水沢・ハワイ
21日(火)		JSPS サマープログラム報告会	ホテルグランドパレス
21日(火)		核融合科学専攻 博士論文公開発表会	核融合科学研究所
27日(月)	13:30-15:30	国際日本研究専攻 学位申請論文公開発表会	国際日本文化研究センター(北研究棟・第5共同研究室)
	http://www.nichibun.ac.jp/grad/index.html		
27(月) -31(金)		核融合科学専攻 夏の体験入学	核融合科学研究所
	http://soken.nifs.ac.jp/open/open2012.html		
28日(火)	14:00-16:00	国際日本研究専攻 学位申請論文公開発表会	国際日本文化研究センター(北研究棟・第5共同研究室)
	http://www.nichibun.ac.jp/grad/index.html		

10月

日程	時間	行事名	場所
14日(日)	13:00-17:00	地域文化学専攻・比較文化学専攻 オープンキャンパス	国立民族学博物館 2階
	http://www.minpaku.ac.jp/research/education/university/apply/opencampus		

● 基盤機関の行事

8月

日程	時間	行事名	場所
6月24日(日) -8月25日(土)		夏のみんぱくフォーラム 2012(探究ひろば関連) 「知りたい、触れたい、調べたい—『みんぱく流』探究のすすめ」	国立民族学博物館
7月23日(月) -8月24日(金) 水・土・日曜を除く	13:30-14:00	真夏サロン	国立民族学博物館
7月10日(火) -9月2日(日)	9:30-16:00	企画展示 楽器は語る —紀州藩主徳川治宝と君子の楽—	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html		
7月10日(火) -9月2日(日)	9:30-16:00	<新収資料の公開>南都楽人辻家の文書	国立歴史民俗博物館

7月31日(火) -9月2日(日)	9:30-16:00	くらしの植物苑特別企画「伝統の朝顔」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/plant_now.html		
2日(木) -25日(土)		展示場クイズ「みんなQ」探究ひろば編	国立民族学博物館
4日(土)	10:00-16:00	子ども見学デー	統計数理研究所
	http://www.ism.ac.jp/events/kodomo2012/index.html		
4日(土) -5日(日)	13:00~	みんなく映画会 日印国交樹立 60周年 「インド・クラシック映画特集」	国立民族学博物館
5日(日)	11:00-12:00	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第264回 「さわっておどろく『手学問のすゝめ』 —ユニバーサル・ミュージアムの可能性—」	国立民族学博物館
7日(火)	10:20-17:00	国立民族学博物館・日本国際理解教育学会共催 博学連携教員研修ワークショップ2011 in みんなく 「学校と博物館でつくる国際理解教育—新しい学びをデザインする—」	国立民族学博物館
11日(土)	12:00-15:30	点字教室	国立民族学博物館 エントランスホール (本館 1F)
11日(土)	13:00-15:00	第344回歴博講演会 徳川治宝の楽器収集とその時代	国立歴史民俗博物館
11日(土)、 25日(土)	13:30-16:00	夏のみんぱくフォーラム2012(探究ひろば関連) 連続講演「博物館にさわる」	国立民族学博物館
12日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第265回 「沖縄の離島社会における高齢者福祉」	国立民族学博物館
16日(木)	13:30-15:30	ワークショップ 「アフリカの仮面のモービルを作ろう！」	国立民族学博物館
17日(金)	13:30-15:30	ワークショップ 「ステンシル版画でハガキを作ろう！」	国立民族学博物館
18日(土)	13:30-15:00	第411回みんなくゼミナール 「ソーシャルメディアに見る人とモノの関係」	国立民族学博物館
19日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第266回 「『身体』について考える:酒蔵でのフィールドワークを通じて」	国立民族学博物館

21日(火)	10:30-16:30	夏休みこどもワークショップ—夏の自由研究はこれで解決!『働く』って何?—アフリカの生活をみてみよう!	国立民族学博物館
23日(木)、 9月6日(木)	未定	公開セミナー「スペイン領アメリカの集住政策」 主催:国立民族学博物館	教皇庁立ペルーカトリカ大学(ペルー)
25日(土)	10:00-12:00	第161回 暮らしの植物苑観察会 「朝顔の仲間たち」	国立歴史民俗博物館 暮らしの植物苑
26日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第267回 「東日本大震災被災地のまちづくり」	国立民族学博物館
28日(火)、 30日(木)、 31日(金)	14:00-17:00	2012年度みんなく秋の遠足・校外学習 事前見学&ガイダンス	国立民族学博物館

9月

日程	時間	行事名	場所
2日(日)		研究公演「神への祈りと喜びの舞曲—バツハからバルトークへ—」	国立民族学博物館
2日(日)	9:00-16:30	平成24年度KEK一般公開	高エネルギー加速器 研究機構
		http://openhouse.kek.jp/	
8日(土)	13:00-15:00	第345回歴博講演会 「考古学・人類学からみた縄文人の生と死」	国立歴史民俗博物館
9日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第268回 「インドネシアの市場(いちば)と商人」	国立民族学博物館
9月13日(木) -11月27日(火)		特別展「世界の織機と織物—織って!みて!織りのカラクリ大発見」	国立民族学博物館 特別展示館
14日(金)	13:30-16:30	日文研・地球研合同シンポジウム 『文化・環境は誰のもの?』	国際日本文化研究センター内講堂(日文研ホール)
		http://www.nichibun.ac.jp/event/index.html	
15日(土)	13:00-17:00	第85回歴博フォーラム「『江戸』の発見と商品化—大正期の三越の流行創出と受容—」	国立歴史民俗博物館
15日(土)	13:30-15:00	特別展「世界の織機と織物—織って!みて!織りのカラクリ大発見」関連 第412回みんなくゼミナール「手仕事への回帰」	国立民族学博物館 講堂
22日(土・祝)	13:30-15:30	第162回暮らしの植物苑観察会 「『日本竹譜』とその著者片山直人」	国立歴史民俗博物館 暮らしの植物苑

22日(土・祝)	13:30-16:30	みんなく映画会／みんなくワールドシネマ 「君を想って海をゆく」	国立民族学博物館
22日(土・祝) -24日(月)	未定	現代インド地域研究 2012 年度 現代インド・南アジアセミナー	国立民族学博物館
23日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第 269 回 「南アジアの衣装と文様表現」	国立民族学博物館
9月27日(木) -11月27日(火)		企画展「記憶をつなぐー津波災害と文化遺産」	国立民族学博物館 企画展示場A
30日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第 270 回 「東南アジアの織機と織物」	国立民族学博物館

10月

日程	時間	行事名	場所
7日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第 271 回 「アイヌの織物」	国立民族学博物館
14日(日)		研究公演「遠い記憶、呼びさます声ーダナンマル家の南インド古典声楽」	国立民族学博物館
14日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第 272 回 「ベトナム、黒タイの機織り文化」	国立民族学博物館
20日(土)	9:30-16:00	オープンキャンパス ここまで来たぞ核融合ー最前線を知ろうー	核融合科学研究所
20日(土)	13:30-15:00	特別展「世界の織機と織物ー織って！みて！織りのカラクリ大発見」関連 第 413 回みんなくゼミナール「バントウの人びとのラフィア織り」	国立民族学博物館
21日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第 273 回 「見方を発見ー染織資料と出会ってみよう」	国立民族学博物館
26日(金)	18:30-20:30	公開講演会「だから人類は地球を歩いたー太平洋へアメリカへ」 主催：国立民族学博物館・日本経済新聞社	日経ホール(東京)
28日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第 274 回 「中南米の織機と織物」	国立民族学博物館

【教員の受賞情報等】

文化科学研究科

日本文学研究専攻

○青木睦 准教授

文化財保存修復学会 第6回文化財保存修復学会業績賞 受賞

複合科学研究科

情報学専攻

○チョン ジーン 准教授

IEEE International Conference on Multimedia and Expo (ICME)において
Best Paper Runner-up Award 受賞

○山田誠二 教授、他

HAI シンポジウム 2011 において

HAI-2011 Outstanding Research Award 優秀賞 受賞

○児玉和也 准教授、他

3次元画像コンファレンス 優秀論文賞 受賞

○佐藤一郎 教授

CISIS-2012 にて Best Paper Award を受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター51号をお届けします。

先日、核融合科学専攻会議に出席する機会があり、十数年ぶりに土岐を訪れることができました。当時は研究所が建設中であり、名古屋から車で向かったのですが、ずいぶん山深いところだという印象がありました。今回は、多治見からバスで向かったのですが、周りに住宅がたくさん建ち並んでおり、山深いということは感じませんでした。



時間があつたので、研究所の外縁を一周しましたが、かなり広いところだと思いました。また、非常に暑いところだと思ったのですが、後日、ニュースで多治見が全国最高を観測というニュースを見て、なるほどと思った次第です。

夜には現専攻担当の方2名と旧専攻担当の方1名と葉山からの3名で、名古屋で手羽先をいただきながら情報交換することができました。仕事をする上で、電話とメールだけではなく、こうして顔を知り合うことが重要だと思っておりますので、いい機会に恵まれたと思っております。



裏庭の鯉



夏空と遠くに霞む富士山



メスのヒラタクワガタ

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2012年8月9日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

広報室（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1632

©2012 SOKENDAI